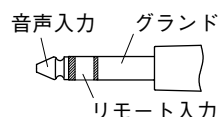


このたびは、TOA卓上型送信機をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの接続マニュアルをお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

ご注意

- この「接続マニュアル」は、本機と外部機器の接続のしかたのみにについて記載しています。本機や外部機器の取り扱いについては、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本機は不平衡入力です。接続コードを長くするとノイズが増えることがあります。
- 本機には、リモート入力があります。このリモート入力により、外部機器から本機の送信をリモート制御することができ、必要なときだけ電波を送信することができます。リモート制御を行う場合、接続する外部機器によっては、付属の3極ホーンコードをその機器に対応して加工しなければならないことがあります。
- 3極ホーンプラグのグラウンド端子は音声入力とリモート入力の共通のグラウンドとなっています。リモート制御時に接続コードが長くなると、送信終了時にノイズが発生することがあります。グラウンドラインが長くなる（抵抗値が1Ωを超える）場合、音声入力とリモート入力のグラウンドは別々に配線し、本機の近くで共通となるように接続してください。
- リモート制御をしない場合、およびリモート制御ができない外部機器と接続する場合には、本機のリモートスイッチを必ず「無」に設定してください。リモートスイッチを「有」に設定すると正しく送信されないことがあります。（リモートスイッチを「無」に設定すると、本機は常時送信状態となります。）



ページングマイクロホン PM-660W との接続のしかた

■ リモート制御をする場合

1. 本機の電源を「切」にします。
2. 本機の入力レベルを-66 dBVに設定します。
3. 本機のリモートスイッチを「有」に設定します。
4. PM-660Wのホーンプラグを本機の入力端子に差し込みます。
5. 本機の電源を「入」にします。
6. PM-660Wのトークスイッチを押すと送信が開始されます。

メ モ

- マイクを口もとに近づけて使用するときや、騒音の大きなところで使用するとき、本機の入力レベルが常時点灯しないように、入力レベルを-60 dBVまたは-54 dBVに設定してください。
- 本機のリモートスイッチを「有」に設定した場合、リモート制御をする場合のみPM-660Wのトークスイッチを押すごとに1音のチャイム音が送信されます。

■ リモート制御をしない場合

1. 本機の電源を「切」にします。
2. 本機の入力レベルを-66 dBVに設定します。
3. 本機のリモートスイッチを「無」に設定します。
4. PM-660Wのホーンプラグを本機の入力端子に差し込みます。
5. 本機の電源を「入」にします。
6. PM-660Wのトークスイッチを押すと音声が出力されます。

メ モ

リモート制御をしない場合、本機は常に送信状態ですが、音声はPM-660Wのトークスイッチを押さなければ出力されません。ただし、チャイム音はトークスイッチを押しても出力されません。

PA アンプ A-1500 シリーズとの接続のしかた

1. 本機と A-1500 シリーズの電源を「切」にします。
2. 本機の入力レベルを-24 dBV に設定します。
3. 本機のリモートスイッチとチャイムスイッチを「無」に設定します。
4. 付属の3極ホンコードで A-1500 シリーズの録音出力ジャック [REC OUT] と本機の入力端子を接続します。
5. 本機と A-1500 シリーズの電源を「入」にします。

PA アンプ TA-2000 シリーズとの接続のしかた

1. 本機と TA-2000 シリーズの電源を「切」にします。
2. 本機の入力レベルを-24 dBV に設定します。
3. 本機のリモートスイッチとチャイムスイッチを「無」に設定します。
4. 付属の3極ホンコードで TA-2000 シリーズのライン出力ジャックと本機の入力端子を接続します。
5. 本機と TA-2000 シリーズの電源を「入」にします。

ミキサアンプ MX-113 との接続のしかた

1. 本機と MX-113 の電源を「切」にします。
2. 本機の入力レベルを-24 dBV に設定します。
3. 本機のリモートスイッチとチャイムスイッチを「無」に設定します。
4. 付属の3極ホンコードで MX-113 のライン出力端子 [ライン] と本機の入力端子を接続します。
5. 本機と MX-113 の電源を「入」にします。

デジタルアナウンスマシン EV-300 シリーズとの接続のしかた

■ リモート制御をする場合（付属の3極ホンコードの加工が必要）

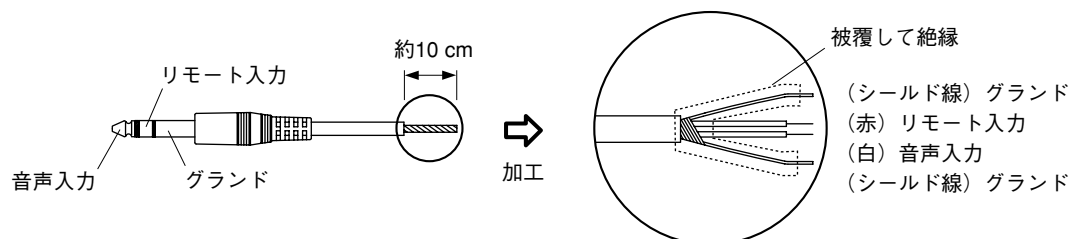
1. 本機の電源と EV-300 シリーズの電源を「切」にします。
2. 本機の入力レベルを-24 dBV に設定します。
3. 本機のリモートスイッチを「有」に設定します。
4. 本機のチャイムスイッチを「無」に設定します。
5. 付属の3極ホンコードを次ページの「3極ホンコードの加工のしかた」の図のように加工します。
6. 加工したコードで本機と EV-300 シリーズを次ページの「接続のしかた」の図のように接続します。
7. 本機と EV-300 シリーズの電源を「入」にします。

ご注意

本機のチャイムスイッチは必ず「無」に設定してください。「有」に設定すると、送信開始時に音声とチャイム音がミキシングされます。

[3極ホーンコードの加工のしかた]

3極ホーンコードは、接続に必要なだけの長さに切断して、被覆を約10 cm取り除いてから、シールド線を2つに分け、先端を図のように加工します。

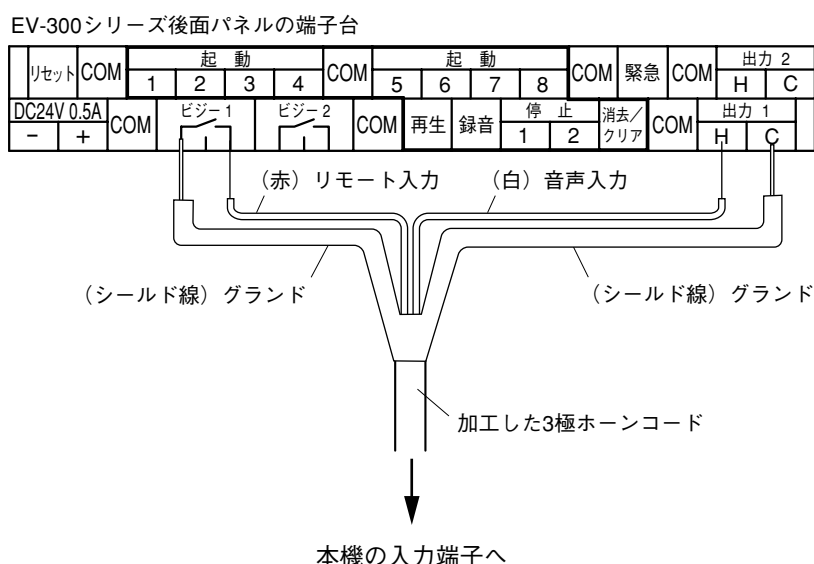


ご注意

- 接点以外で線がむき出しになるところは、被覆して絶縁してください。

[接続のしかた]

(出力1に接続する場合)



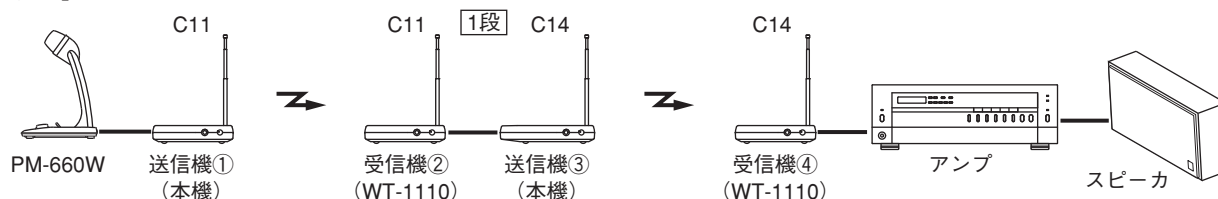
■ リモート制御をしない場合

1. 本機の電源とEV-300シリーズの電源を「切」にします。
2. 本機の入力レベルを-24 dBVに設定します。
3. 本機のリモートスイッチとチャイムスイッチを「無」に設定します。
4. 付属の3極ホーンコードでEV-300シリーズの出力1または出力2（ホーンジャック）と本機の入力端子を接続します。
5. 本機とEV-300シリーズの電源を「入」にします。

卓上型受信機 WT-1110 との接続のしかた

本機と卓上型受信機 WT-1110 を接続することで、図のような中継動作が可能となります。

[接続例]



リモート制御をする場合 (上記接続例の場合)

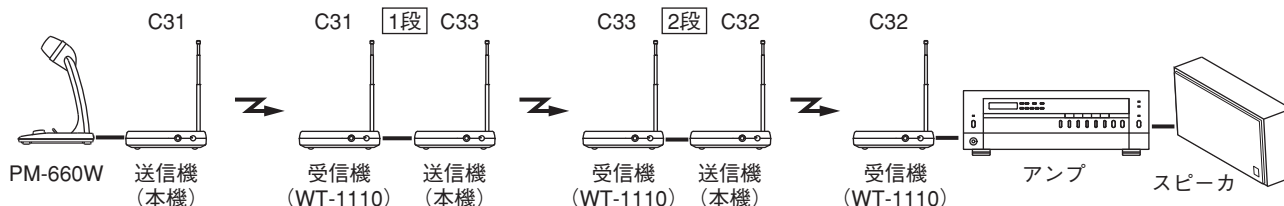
1. 本機の電源と WT-1110 の電源を「切」にします。
2. 本機の入力レベルを -12 dBV に設定します。
3. 本機のリモートスイッチを「有」に設定します。
4. WT-1110 の LINE/MIC スwitch を「L」に設定します。
5. 送信機①と受信機②のグループ、チャンネル、およびトーンスイッチを同じ設定にします。
6. 送信機③のチャンネルを①のチャンネルと 2 チャンネル以上離れたチャンネル (ただし、①と同一グループ内のチャンネル) に設定します。
7. 受信機④のグループ、チャンネル、およびトーンスイッチ設定を送信機③と同じ設定にします。
8. 付属の 3 極ホーンコードで②と③を接続します。
9. 本機と WT-1110 の電源を「入」にします。このとき、WT-1110 のボリュームは最大にして使用してください。
10. PM-660W のトークスイッチを押すと、送信および受信を開始します。

リモート制御をしない場合 (上記接続例の場合)

本機のリモートスイッチを「無」に設定します。(本機は WT-1110 の受信に関係なく常に送信状態になります。) 他は前項の「リモート制御する場合」と同様の手順で行います。

上手に中継動作をご利用いただくために

- 受信機と送信機が接近していると、受信機の感度が低下し、弱い電波が受信できなくなります。受信機と送信機の距離をできるだけ (50 cm 以上) 離してください。
- 1 音チャイム設定をする場合は、最終の送信機のチャイムスイッチのみを「有」に設定してください。すべての送信機のチャイムスイッチを「有」に設定すると、すべての送信機からのチャイム音がミキシングされ、チャイム音が歪みます。また、最初の送信機のチャイムスイッチのみ「有」に設定した場合は、チャイム音が最終の受信機で出力されなくなることがあります。
- 使用可能な中継段数は 2 段 (下図) までです。
- 1 段の中継動作 (上図) のチャンネル設定は、同一グループ内のチャンネルを使用し、各送信機のチャンネルは上図のように 2 チャンネル以上離れたチャンネルに設定してください。2 チャンネル以上離れたチャンネルに設定していない場合、通達距離が短くなることがあります。
- 2 段の中継動作のチャンネル設定は、同一グループ内のチャンネルを使用し、各送信機のチャンネルは下図のように設定してください。混信などの理由で下図のように設定できない場合は、各送信機のチャンネルを C22、C24、C23 または C12、C14、C13 に設定してください。



TOA お客様相談センター 商品の内容や組み合わせ、設置方法などについての技術的なお問い合わせにお応えします。 受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日除く)	フリーダイヤル 0120-108-117 ナビダイヤル 0570-064-475 (有料) FAX 0570-017-108 (有料) ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。	当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。
--	--	--	---

TOA ホームページ <http://www.toa.co.jp/>